

NEWS RELEASE

平成25年8月吉日

報道関係者各位

株式会社 第三銀行

地域密着型金融の推進に向けた取組みについて

株式会社第三銀行（本店 三重県松阪市、頭取 岩間 弘）は、平成24年8月に公表いたしました「地域密着型金融の推進に向けた取組み」の平成24年度中（平成24年4月～平成25年3月）における進捗状況を下記のとおり取り纏めましたのでお知らせいたします。

記

1. 全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当行では、創立100周年を迎えた平成24年度を新たな飛躍のステージと位置づけたうえで、中期経営計画のビジョンである「地域に根ざしお客様とともに成長する銀行」の実現に向け役職員一同総力を結集し、取り組んでまいりました。

「地域密着型金融の推進に向けた取組み」は、中期経営計画の計画期間に合わせ、同計画に盛り込まれた施策を中心に平成27年3月までの地域密着型金融推進のための具体策を定めるとともに、数値目標を設定のうえ平成24年8月に公表いたしました。

平成25年3月までの1年間の取組成果につきましては、施策面・計数面とも概ね順調に実績をあげており、地域金融を担う銀行としての役割を果たすことができたと考えております。

今後についても中期経営計画に盛り込んだ地域密着型金融の推進に向けた諸施策の着実な実現を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

本取組推進策における数値目標に対する成果につきましては、「2. 数値目標に対する実績」、個別項目ごとの具体的な取組成果については、当行のホームページ（ニュースリリース）に「地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について」【平成24年4月～平成25年3月】として掲載しております。

（当行ホームページ <http://www.daisanbank.co.jp>）

2. 数値目標に対する実績

（単位：先）

指標	25年3月期 (計画)	25年3月期 (実績)	26年3月期 (計画)	27年3月期 (計画)	目標 (3年間累計)
創業・新事業開拓支援	22	35	21	21	64
経営相談	95	119	95	95	285
早期事業再生支援	10	8	10	11	31
事業承継支援	5	5	5	5	15
担保・保証に過度に依存しない融資促進	288	295	295	302	885

以上

お問合せ先	総合企画部 有瀧・太田	0598-25-0363
-------	-------------	--------------

キラリと光るあなたの銀行



地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について

【平成24年4月～平成25年3月】

平成25年8月



THE DAISAN BANK, LTD.

地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について

～目次～

- | | | |
|----|------------------------------|-----|
| 1. | お客さまに対するコンサルティング機能の発揮 | P1 |
| 2. | 地域の面的再生への積極的な参画 | P7 |
| 3. | 地域密着型金融の取組みを推進するための態勢整備 | P11 |
| 4. | 地域の皆様に対する積極的な情報発信と数値目標に対する実績 | P12 |

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

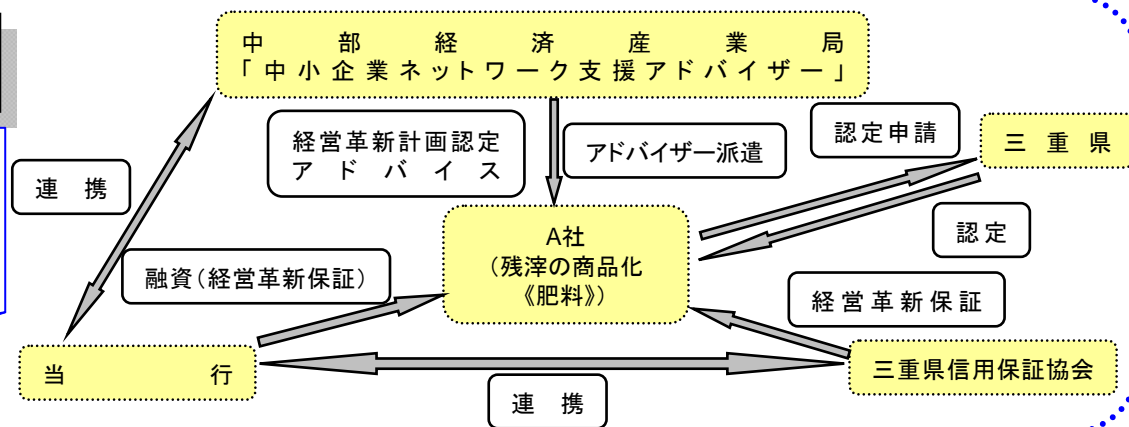
■創業・新事業支援

- ▶ 創業・新事業にかかる支援については、三重県信用保証協会創業グループとの連携を通じた創業関連融資制度の活用のほか、商工会議所、コンサルタント等と協力して創業・新事業全般について支援しました。
- ▶ 三重大学との産学連携に関する包括協定に基づき、三重大学において「農水商工連携を前提とした新製品マーケティング研究会」を定期的で開催し、地域の農産物を活用した加工食品の開発を行うなど新事業の開拓を支援しました。
- ▶ 中部経済産業局「中小企業支援ネットワーク強化事業」^(注)のアドバイザー派遣を活用し経営革新計画の認定取得アドバイスの支援を実施しました。
- ▶ 法人推進部医療チームによる医療・介護施設開業に対する支援を実施しました。

産業廃棄物の中間処理から発生する残滓の商品化(肥料)に対する新事業支援例

- ▶ 中部経済産業局「中小企業支援ネットワーク強化事業」のアドバイザーを派遣し事業化の検証や経営革新計画の作成支援を行うとともに、事業資金については、三重県信用保証協会との協調により支援を実施しました。

(注)平成24年度終了。25年8月より「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」における「地域プラットフォーム」を経由した専門家派遣事業を実施。



1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

■事業成長支援(①ビジネスマッチング)

- ➡ 地域経済の活性化を図るため、平成24年度は、「美」「食」「癒し」をテーマとした商談会・展示会「ビジネスサミット2012」、「感謝のつどい(ふれあいミーティング)」等を積極的に活用し、ビジネスマッチング業務を通じた販路拡大等を支援しました。
- ➡ これらの取組みにより平成24年4月～平成25年3月におけるビジネスマッチングの実績は406件となりました。

▶「ビジネスサミット2012」概要

- (1) 日時 : 平成24年9月7日(金) 10:00～17:00
- (2) 場所 : 愛知県産業労働センター
- (3) テーマ : 「美」「食」「癒し」
- (4) 構成 : ①個別商談会
②展示会
③イベント企画
- (5) 主催 : (株)大垣共立銀行・(株)北陸銀行
共催 : 当行・(株)三重銀行

▶ビジネスサミット2012



▶当行のお取引先の参加実績

	全体の参加者	うち当行のお客さま
展示会	136社	13社
個別商談会	296社	6社
合計	432社	19社

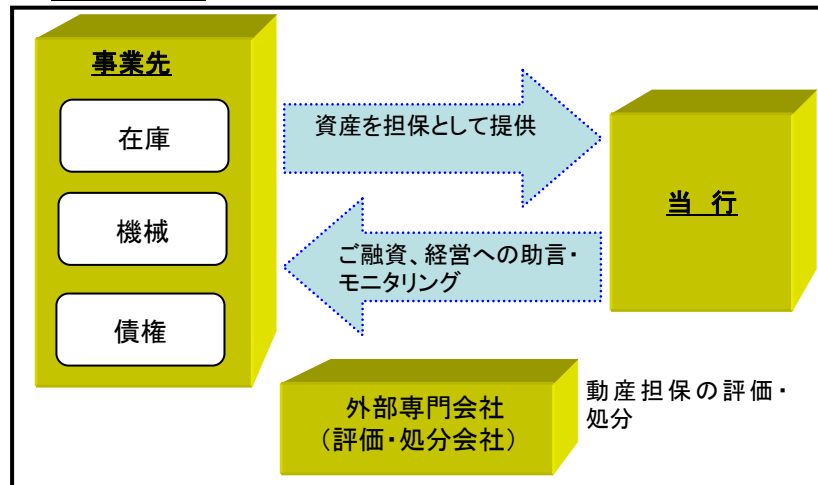
1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

■事業成長支援(②ABLやコベナント活用型融資等の取組)

- ➡ ABL(動産・売掛金担保融資)やコベナント活用型融資等の不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資などを通じて、成長過程等にあるお客さまに対して必要な資金供給を行いました。
- ➡ 平成24年5月、環境・エネルギー分野の専担者を配置し、太陽光発電など再生可能エネルギー分野に対して積極的に支援を行いました。
- ➡ 当行では、平成24年10月に再生可能エネルギーを用いた発電事業に参入するお客さまを支援するため、再生可能エネルギー発電事業融資『ecoエネルギーローン』を取扱開始しました。

▶ABLの仕組



▶ABLの一例



ヒノキ・スギの原木



松阪牛

▶環境・エネルギー分野への取組



太陽光発電(倉庫の屋根)



太陽光発電(農場)

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

■事業成長支援(③お取引先の海外進出に対する支援)

- ▶ お客様の海外ビジネス関連のニーズに対して当行の海外ビジネスサポート室がコンサルティング会社と連携し、個別に相談会を開催したほか、各種セミナーを開催しました。
- ▶ お客様のアジア進出支援体制の整備を図るため、当行は国際協力銀行(JBIC)とインドネシアのバンクネガラインドネシア(BNI)との間で締結された「覚書」に「BNI協力銀行」として参加(平成24年7月)するとともに、ベトナムへの進出支援を目的として、コンサルティング企業の株式会社エスネットワークスと業務提携(平成24年9月)しました。
- ▶ これらにより、インドネシア、ベトナム進出を計画するお客様に対して有用な情報を提供できる態勢の整備を図りました。

▶海外進出セミナー(フィリピン)の開催

- (1)日時 : 平成24年6月15日(金) 14:00~17:00
- (2)場所 : 四日市シティホテル
- (3)テーマ : 『『フィリピン』ビジネスチャンスを探る』
- (4)主催 : 在大阪フィリピン総領事館
- (5)共催 : 当行・ジェトロ三重

▶セミナー開催模様(参加者数:25社、30名)



1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

■経営相談・経営支援

- ▶ 本部と営業店が協力し、お客様に具体的なソリューションを含む経営改善計画の策定等の支援を実施しました。
- ▶ ビジネスマッチング支援、産学官連携の活用、中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携や、外部専門家の知見の積極的な活用を通じて取引先に対する経営相談・経営支援を実施しました。

▶中小企業再生支援協議会の実績

再生計画策定完了先

8社

- ▶ 平成24年12月、当行は国より「経営革新等支援機関」^(注)の認定を受けました。中小規模事業者等のお客様の経営課題の解決に向けソリューションの提供に努めていきます。

(注) 税務・金融並びに企業の財務に関して専門的な知識や実務経験を有すると認められた機関に与えられるもの。

■事業再生支援

- ▶ お取引先ごとに、事業再生の取組方針を定め、中小企業再生支援協議会等の連携や債権放棄やDES、DDS(資本性借入金)を活用した取組等を検討し事業再生支援を実施しております。これらの再生支援のうち、1先に対してDDSを実行し、お客様の再生支援を行いました。

▶「資本性借入金(DDS)」とは金融機関が企業の財務状況等を判断するにあたって、負債ではなく、資本とみなすことができる借入金。

【実態貸借対照表DDS実施前】

資産	2,500	借入金	2,000
		他の負債	1,000
資産計	2,500		
		負債計	3,000
			債務超過額 500

実抜計画策定
DDS300 取組
債務超過額圧縮

【既存借入金をDDSへ転換後】

資産	2,500	借入金	1,700
		他の負債	1,000
資産計	2,500		
		負債計	2,700
			債務超過額 200
			DDS 300

DDS300を資本とみなすことによって、債務超過額を500から200へ圧縮。財務内容の改善が図られるとともに、新規融資が受けやすくなる。

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

■事業先のライフステージに応じた取組支援

■事業承継支援

- ▶ お客様の事業承継ニーズにお応えするため、M&Aセミナーを開催したほか、簡易な自社株評価を無償で提供するなどして事業承継ニーズの把握と課題解決に向けた支援を行いました。
- ▶ 提携M&A専門会社、外部の専門家との連携を強化し、事業承継に関する課題解決に向けた取組支援を行いました。

▶ 「勝ち組になるためのM&Aセミナー」

- (1) 日時：平成24年11月21日(水) 13:30～16:00
- (2) 場所：愛知県産業労働センター
- (3) 演題：第1部
中小企業のM&Aにおける企業価値の測り方
：第2部
「私のM&A体験談」会社を買うときに思ったこと、買って分かったこと
- (4) 主催：(株)大垣共立銀行・(株)名南経営
共催：当行・(株)北陸銀行・(株)三重銀行

▶ 「勝ち組になるためのM&Aセミナー」(平成24年11月開催)



2 . 地 域 の 面 的 再 生 へ の 積 極 的 な 参 画

■ 地 域 社 会 へ の 貢 献

■ 金融仲介機能の真価の発揮

- ➡ 事業者向け融資商品の積極的な活用を通じて、地域のお客さまへ円滑に資金を供給し、地域経済の活性化に貢献できるよう取り組みました。
- ➡ 具体的には、平成24年5月に当行の創立100周年を記念し、お客さまへの感謝を込めてファンド総額を100億円とする「100周年ありがとうファンド」を創設し、地域のお客さまに対して円滑かつ積極的に資金供給を行いました。
- ➡ また、平成25年1月には、本ファンドを総額300億円に増枠し、幅広く地域の多くのお客さまにご利用頂きました。
- ➡ 「100周年ありがとうファンド」の実績(平成24年5月～平成25年3月)

件数	金額
870件	23,026百万円

■ 地域の面的再生に向けた積極的な参画

- ➡ 平成24年10月、当行は三重県と相互の連携を円滑にするため、「産業振興等に関する包括協定」を締結しました。
- ➡ 本協定は、三重県内産業の振興を図り、県内に新規立地する企業や、新たな事業展開を図る県内事業者等を支援することを目的としており、県内産業振興のため連携を深めています。
- ➡ 感謝のつどい(ふれあいミーティング)を活用したビジネスマッチングによる取り組みを通じたお客さまの販路開拓支援の取り組みを行いました。

➤ 「産業振興等に関する包括協定」
の締結



➤ 「感謝のつどい2012」鈴鹿会場
の様子



2 . 地 域 の 面 的 再 生 へ の 積 極 的 な 参 画

■ 地 域 社 会 へ の 貢 献

■ 地 域 貢 献 活 動 の 強 化 ①

ミニ・バスケットボール大会の主催(7月)



三重県内の小学生の男女各16チームによるトーナメント方式による大会。

キッズISO実施(7月)



環境保全活動に対する子供向け教育プログラム「キッズISO14000」の実施。松阪市柿野小学校6年生16名が参加しました。

インターンシップの実施(8月)



大学生の就業意識の醸成を支援する目的でインターンシップを実施しました。(7大学から17名の学生が参加)

「第三銀行杯三重県少年サッカー選手権大会」の後援(10月)



三重県内の小学5年生(11チーム)、6年生(12チーム)による学年ごとのトーナメント方式による大会。

➡ 当行では地域の青少年の健全な育成を積極的に支援するため、スポーツ振興、キッズISO、職場見学の受入等を毎年実施しています。

2 . 地 域 の 面 的 再 生 へ の 積 極 的 な 参 画

■ 地 域 社 会 へ の 貢 献

■ 地 域 貢 献 活 動 の 強 化 ②

ネーミングライツ契約の締結(5月)



市民サービスの向上と地域経済活性化を目的とした公共施設などへの「ネーミングライツ契約」を松阪市と締結しました。

熊野古道定期にかかる寄付金の贈呈(8月)



地域社会への貢献策の一つとして取扱いした「熊野古道定期」のお預入れ残高に応じた寄付金を三重県に寄贈しました。

「三重県応援ファンド」寄付目録贈呈式(10月)



ご当地投信である三重県応援ファンドの販売を通じて三重県の社会福祉向上のために、信託報酬の一部で福祉車両を購入し寄贈しました。

創立100周年記念植樹の実施(10月)



環境保全事業の一環として、松阪市森林公園内に創立100周年記念の植樹を実施しました。

➡ 当行では文化振興事業に積極的に取組み、地域の文化発展への取組みを行うほか、地域社会への多様な参画により地域社会への貢献に努めています。

2 . 地 域 の 面 的 再 生 へ の 積 極 的 な 参 画

■ 地 域 社 会 へ の 貢 献

■ 地 域 貢 献 活 動 の 強 化 ③

津南警察署でのCS向上セミナーの開催(11月)



CS向上への取組みをテーマとしたセミナーを当行の職員が講師となり開催しました。

一店舗一貢献活動の実施(平成24年4月～平成25年3月)



100周年の感謝の気持ちをこめて、社会貢献活動「一店舗一貢献活動」を実施しました。

「子育て応援！わくわくフェスタ」への協賛と参加(2月)



企業や地域団体などが行政と一緒に子どもや子育て家庭をささえる地域社会づくりに取組む三重県のプロジェクトに協賛企業として参加しました。

三銀ふるさと文化財団による地域文化活動に貢献した方への顕彰事業(3月)



地域の生活文化、伝統文化の創造、維持、育成に努力し、その文化活動を通じてふるさとづくり等に貢献した個人および団体への表彰を行いました。

3. 地域密着型金融を推進するための態勢整備

■地域密着型金融の推進のための人材育成

➡ 事業を営むお客さまに対する目利き能力の養成を図るとともに、事業価値の向上に資するコンサルティング力を発揮することができる人材の増強を図るための研修として、「目利き入門塾」、「目利き師範塾」を計画的に実施しています。

➤ 「目利き塾」、「目利き師範塾」の実績(平成24年4月～平成25年3月)

講座	卒業生
目利き入門塾	23名
目利き師範塾	10名

➡ より質の高いサービスをお客さまに提供するため、金融コンサルティング能力の向上を目的とした「法人営業担当者ロープレ大会」及び金融商品コンサルティング能力の向上を目的とした「窓口対応コンクール」をそれぞれ開催しました。

➤法人営業担当者ロープレ大会の様様(平成25年2月開催)



➤窓口コンクールの様様(平成25年3月開催)



4. 地域の皆様に対する積極的な情報発信と数値目標に対する実績

■地域の皆様に対する情報発信

- 「地域密着型金融の推進に向けた取組み」について、計数実績を含めた具体的な取組状況を、ホームページ、ディスクロージャー誌等を通じて、定期的に「地域の皆様に対して積極的な情報発信」を行っています。
- また、平成24年12月、当行のHPの全面リニューアルにより、より一層使いやすく、分かりやすいホームページとなっております。今後もHPの充実を図るとともに、引続きタイムリーな情報発信を行ってまいります。

▶新しいホームページ



■数値目標に対する実績

平成24年4月～平成25年3月（1年間）の取組実績

（単位：先）

指 標	25年3月期 計画	25年3月期 実績	26年3月期 計画	27年3月期 計画	目標 (3年間累計)
創業・新事業開拓支援	22	35	21	21	64
経営相談	95	119	95	95	285
早期事業再生支援	10	8	10	11	31
事業承継支援	5	5	5	5	15
担保・保証に過度に 依存しない融資促進	288	295	295	302	885